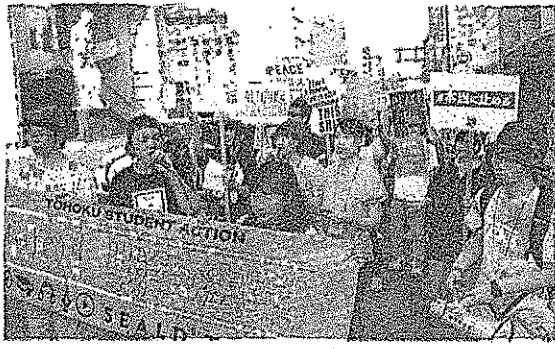


# シールズ東北600人デモ

## 仙台で「戦争法案に反対」

宮城県の学生らが7月14

日に結成した「SEALD



戦争法案反対を訴える  
学生ら119日、仙台市

s TOHOKU)（シールズ東北）は9日、「戦争

ことはインパクトがある」

と呼びかけました。

東京や福島からも参加者

が集まり、連帯のあいさつ

をしました。

フェイスブックでシール

ズ東北が結成されたことを

知り友人同士で参加した、

大学1年生の坂口歩夢さん

と小西肇さんは「憲法解釈

下され、哀悼をささげ、平

和を祈る日です。この日に

私は戦争法案反対の声を上

げたい。被災地には他に深

刻な問題が山のようにあ

を変え、十分な説明もなく、  
分らないうちに決めよう  
とするのが気に食わない。

戦争経験者や広島の被爆者

の話を学んで、戦争はした

くないし、行きたくないと

思っている」と話しました。

参加者はプラカードを掲

げ「憲法守れ、戦争法案止

めっぺ」「東北だって黙っ

てないサ」などとコール

し、学生のスピーチも交え

ながら市内の繁華街を行進

しました。